

シリーズ「事例から学ぶ41」

「夏休み。ボランティアで成長！！！」

県立小山南高等学校 教諭 針谷 英子

小山南高校では生徒によるボランティア活動を推進している。今年の夏休みも、延べ70名の生徒が様々なボランティア活動に参加した。毎年恒例のボランティア活動が多い中、今年の夏、初めて生徒が参加した活動がある。太平少年自然の家主催の小学生対象の防災キャンプ、どきどきキャンプ in 太平 & 芳賀だ。本校生徒は、小学生達と共に活動するボランティアリーダーとして参加した。防災を意識したハードな日程にも関わらず、4人の生徒が参加を希望した。友人と楽しい夏の思い出を作れるかも、と軽い気持ちで参加した生徒、知らない人と話すことが苦手だから、自分を変えたいと勇気を出した生徒。きっかけは様々であるが、終わってみれば、数日間の間に大きな自信をつけて帰ってきてくれた。

後で知ったのだが、本校がボランティア活動に力を入れていると知って、ボランティアの案内をくださったとのこと。一本の電話から始まった、生徒達にとって最高の4泊5日、夏の思い出。「また参加したい！」と話す、生徒達の笑顔が眩しい。



雑感「高校生のまち・栃木」をめざして

県立学悠館高等学校 教諭 阿部 治

皆さんもご存じの通り栃木市内には9つの高校と高等部があります。この小さな地方都市にこれだけの高校があり、多くの高校生が栃木市に通ってきているという優位性に栃木市民は気づいていないのが現状です。そして、残念なことに市外から通う高校生のほとんどが、三年間過ごした栃木市に何の印象ももたないまま卒業してしまいます。

これまで栃木市にとってきわめて大きな財産である高校生の存在をみすみす見逃してきたわけですが、ついに昨年度から高校生を巻き込む二つの動きが始まりました。一つは栃木市教育委員会生涯学習課が中心になって始めた「高校生の居場所づくりプロジェクト」。もう一つは小山高専が進める「総合防災事業プロジェクト」への高校生の参加でした。この春にこの二つの動きが合流して高校生のまちづくりグループ「とちぎ高校生蔵部」が結成され活動を始めています。これからの課題は、蔵部に参加する高校生がこの活動を通じていかに成長しているかを各高校に伝え、高校側に理解、協力してもらえらる態勢づくりをしていくことです。なかなか厚い壁ですが……「めざせ！高校生のまち・栃木」



第1回研修会・懇親会報告

5月17日（土）栃木市ニューアプロニーにおいて平成26年度下都賀地区生涯学習研究会総会並びに第1回研修会が開催されました。研修会は、『これからの生涯学習の方向性と社会教育主事及び社会教育主事有資格者の役割』について栃木県教育委員会事務局生涯学習課長の上田裕司氏が御講演くださりました。栃木県の社会教育の動向や私たち有資格者への期待等を知ることのできる貴重な機会となりました。様々な気づきのある研修会となりました。



◇第2回研修会案内◇

第2回研修会

「下都賀地区ふれあい学習研修会」
～ステップアップ研修Ⅰ～

◇日時 平成26年11月20日（木）
13:30～16:30

◇場所 栃木市サンプラザ
（栃木駅北口 徒歩で約3分）

【懇親会】

※研修会場と同じ

◇時間 17:30～19:30（予定）

◇会費 5,000円

※申込みにつきましては別紙にてお願いいたします。

編集後記

人と人、学校と家庭、地域と学校・・・さまざまな「つながり・絆」に支えられ、私たちは優しく、強くなっていくのだと常々感じております。「ネットワーク」は、今年度も皆様にご協力いただきながら、たくさんの「つながり・絆パワー」をお届けしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。（N）